

授業科目名： 学校保健概論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：斎藤 利之 担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校保健体育）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 学校保健概論		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。</p> <p>A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。</p> <p>B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。</p> <p>C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。</p> <p>D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</p> <p>E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。</p> <p>F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</p>			
<p>授業到達目標及びテーマ</p> <p>(1) 学校保健領域への基本的な理解を深める。</p> <p>(2) 保健体育が健康教育として果たす使命を理解する。</p> <p>(3) 学校保健の具体的な役割を果たす。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>保健体育教師は、文部科学省の学習指導要領に基づき「教育基本法・学校教育法・学校保健安全法・学校給食法・日本スポーツ振興センター法」等の関連法規に鑑み実施され、保健学習を直接担当すると共に、身体活動を通じて子どもの心身に関する情報を随時取り込みながら、体力・健康管理・指導の先端的役割を担っている。この意味において、保健体育の教師に課せられた役割は極めて大きく、その役割を果たすべく学習を深めていく。</p> <p>また、当該教師が児童・生徒の健康（精神も含む）にどのように関わりを持つかについて学び、子どもの心身の特徴、運動特性、生活リズム等の諸問題を具体的事例に基づき考察を行いながら、学校教育における体力・健康の維持増進の意義について理解を深める事を目的とする。</p>			

#### 授業計画

- 第1回：学校保健と何か（学校現場における変遷など含む）
  - 第2回：子どもの発育・発達（精神面）
  - 第3回：子どもの発育・発達（身体面）
  - 第4回：健康診断（歴史・意義・管理）
  - 第5回：子どもに多い病気と健康障害
  - 第6回：感染症とその予防
  - 第7回：喫煙および薬物乱用の防止
  - 第8回：救急処置法
  - 第9回：学校精神保健
  - 第10回：障がい児の健康と理解
  - 第11回：保健室の役割
  - 第12回：学校安全・危機管理
  - 第13回：学校の環境衛生
  - 第14回：保健教育
  - 第15回：学校保健計画と学校保健組織活動
- 定期試験

#### 教科書

渡邊 正樹（編）『学校保健概論 第3版』光生館 2020年

#### 参考文献

- (1) 教員養成系大学保健協会（編）『学校保健ハンドブック（第5次改訂）』ぎょうせい 2009年
- (2) 家田 重晴（編著）・柿山 哲治ほか（共著）『保健科教育（改訂第3版）』杏林書院 2010年

その他、必要に応じて適宜紹介する。

#### 学生に対する評価

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）を総合して評価する。